報道資料

令和３年（２０２１年）１２月２４日

新型コロナウイルス感染症対策に係る
熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、**レベル０**とします。

【概要】

１　県内の感染状況

期　間	最大確保病床使用率 （使用数）	新規感染者数
１２月１６日(木)～１２月２２日(水)	０％（０名）	０名

２　熊本県リスクレベルについて

前回（１２月１７日発表）	今回（１２月２４日発表）
レベル０ なお、感染状況は先週と 大きな変化は見られない。	**レベル０** なお、感染状況は先週と 大きな変化は見られない。

３　県民の皆様へのお願い

県内では感染が確認されない状況が継続していますが、世界的に流行しているオミクロン株については、東京都や沖縄県などにおいて入国者との接触による国内感染事例が確認されているほか、大阪府及び京都府では市中感染と考えられる事例が確認されており、今後の拡大が懸念されます。年末には、普段会わない方との交流の機会も増加すると思われますので、県民の皆様には、基本的感染防止対策の徹底をお願いします。特に、発熱時等は外出を控え、すぐにかかりつけ医等に電話相談をしていただくようお願いします。

なお、本県においては国の基本的対処方針に基づき、5,000人を超えるような大規模のイベントの開催においては、感染防止安全計画を定めるなどの対策の徹底を求めていますので、事業者の皆様におかれては、留意をお願いします。

熊本県　健康福祉部健康危機管理課
問合せ先：井上、横山、中満、浦江
電話：０９６－３３３－２２３９
（内線）５９３１、５９３３、５９３４

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和３年（２０２１年）１２月２４日】

1　熊本県における現状認識

本県の１２月２２日の入院者数は０人（最大確保病床に対する使用率：０%）、１２月１６日からの一週間の新規感染者数は０人であることから、本県のリスクレベルはレベル０とする。

一方、世界的に流行しているオミクロン株について、東京都や沖縄県などでは入国者との接触による国内感染事例が確認されているほか、大阪府及び京都府では市中感染と考えられる事例が確認されており、今後の拡大が懸念される。年末には、普段会わない方との交流の機会も増加すると思われるため、県民の皆様には、基本的感染防止対策の徹底をお願いする。特に、発熱時等は外出を控え、すぐにかかりつけ医等に電話相談していただくようお願いする。

なお、本県においては国の基本的対処方針に基づき、5,000人を超えるような大規模のイベントの開催においては、感染防止安全計画を定めるなどの対策の徹底を求めているため、事業者の皆様におかれては、留意をお願いする。

今回（１２／１７発表）	今回（１２／２４発表）
レベル０ なお、感染状況は先週と 大きな変化は見られない。	**レベル０** なお、感染状況は先週と 大きな変化は見られない。

[熊本県リスクレベル]

【目的】感染者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

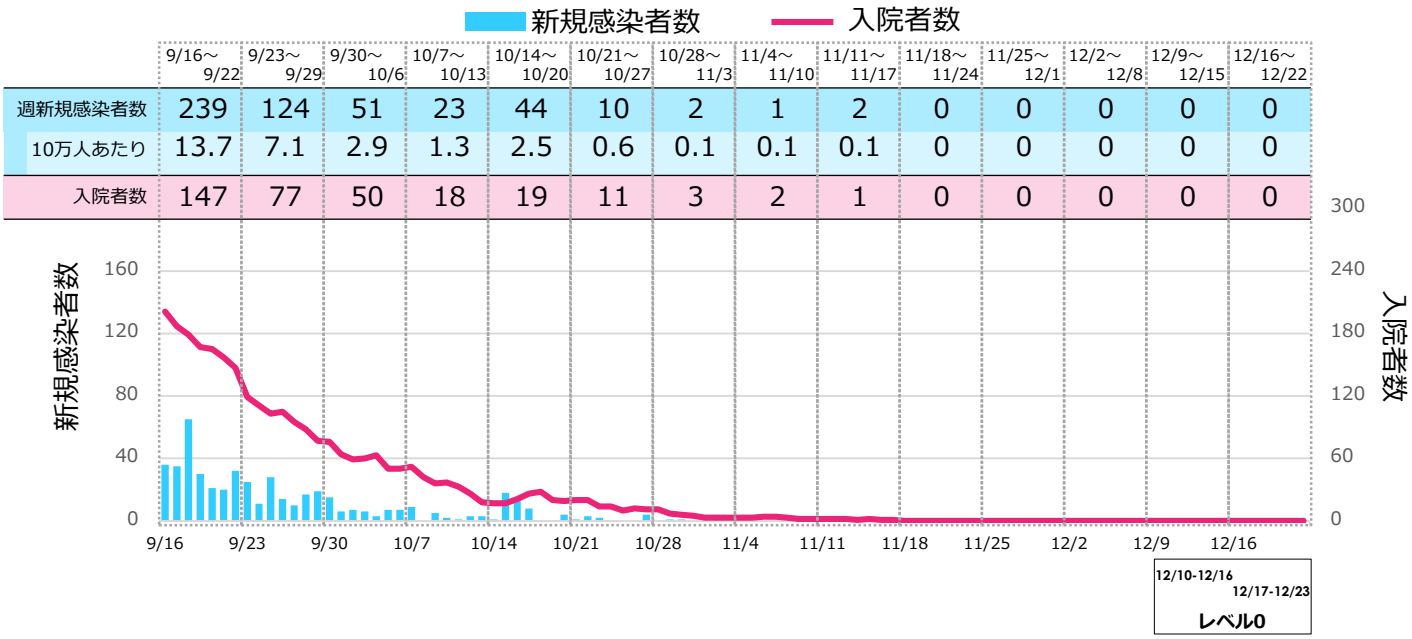
※あくまでも目安であり、現状がどのレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は、本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

レベル	該当する状況	本県の基準		本県で想定する対策例
		病床基準※2	新規感染者基準※3	
レベル４ 避けたい レベル	一般医療を 大きく制限しても 対応困難	80% (645人)	―	・国への災害医療的な対応依頼 ・積極的疫学調査の重点化　等
レベル３ 対策強化 レベル	一般医療の 制限が必要	40% (323人)	50人 (874人)	・ワクチン・検査パッケージ制度適用の停止 ・**【緊急事態措置】の対策** -飲食店等の人数制限要請※1、休業・時短要請 -イベントの人数制限要請※1 -県外移動は極力控える呼びかけ※1　等 ・**【まん延防止等重点措置】の対策** -飲食店等の人数制限要請※1、時短要請 -イベントの人数制限要請※1 -県外移動は極力控える呼びかけ※1　等
レベル２ 警戒強化 レベル	感染増加傾向が見られているが、病床数を増やすことで対応できている状態	15% (121人)	10人 (175人)	・飲食店を起因として県内の感染が拡大する場合、認証店以外の飲食店の時短要請※4、国へのまん延防止等重点措置要請 ・国とまん延防止等重点措置要請の協議開始 ・感染状況に応じ、感染不安を感じる無症状者への検査受検要請を検討 ・飲食店等の人数制限要請※1 ・感染リスクが高い場所への外出・移動の自粛要請 ・感染リスクの高い行動回避の呼びかけ ・段階的な病床の確保　等
レベル１ 維持すべき レベル	一般医療が 確保	―	1人 (17人)	・基本的感染防止対策徹底の要請 ・イベントの感染防止対策徹底等の要請 ・緊急事態宣言・まん延防止等重点措置地域への移動を控える呼びかけ※1　等
レベル０ 感染ゼロ	新規感染者 ゼロを維持	県内で継続的な感染が起こっていない状況		

(※1)ワクチン・検査パッケージ制度適用による緩和対象
(※2)最大確保病床使用率(12/1時点：806床に対する入院者数)
(※3)週の感染者数/人口10万人(本県人口換算)
(※4)自主的に時短に協力した認証店には協力金を支払う

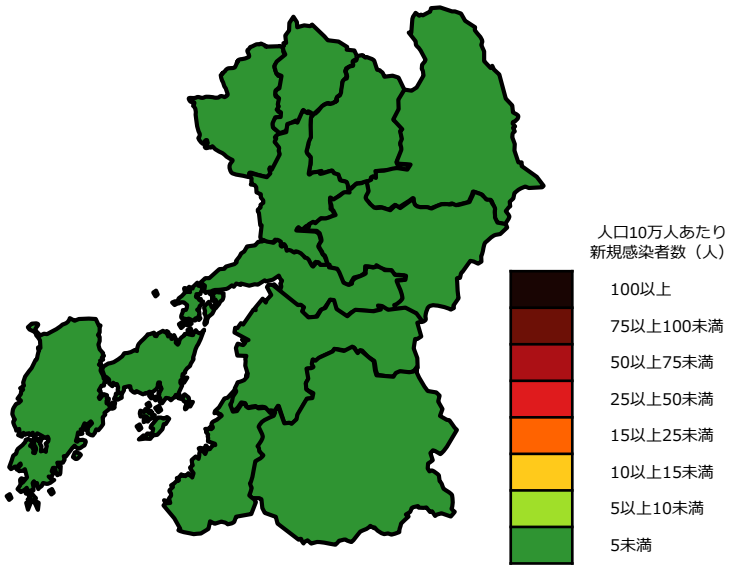
(注1)病床基準と新規感染者基準を踏まえ、感染拡大傾向や他県の状況を鑑み、総合的にレベル判断を行う。
(注2)感染状況や、重症病床使用率、変異株の流行状況によっては、基準によらない判断を行うことがある。

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（9/16~12/22）：公表日ベース】



	9/16～9/22	9/23～9/29	9/30～10/6	10/7～10/13	10/14～10/20	10/21～10/27	10/28～11/3	11/4～11/10	11/11～11/17	11/18～11/24	11/25～12/1	12/2～12/8	12/9～12/15	12/16～12/22
週新規感染者数	239	124	51	23	44	10	2	1	2	0	0	0	0	0
10万人あたり	13.7	7.1	2.9	1.3	2.5	0.6	0.1	0.1	0.1	0	0	0	0	0
入院者数	147	77	50	18	19	11	3	2	1	0	0	0	0	0

【保健所ごとの感染例の確認状況】



保健所名	12/16～12/22	
	新規感染者数	人口10万人※あたり
熊本市保健所	0	0.0
有明保健所	0	0.0
山鹿保健所	0	0.0
菊池保健所	0	0.0
阿蘇保健所	0	0.0
御船保健所	0	0.0
宇城保健所	0	0.0
八代保健所	0	0.0
水俣保健所	0	0.0
人吉保健所	0	0.0
天草保健所	0	0.0

※ 各保健所管内の人口は平成31年4月1日のものを使用

【医療提供体制、感染状況に関する参考指標】

時点	医療負荷の参考指標								感染状況の参考指標		
	重症病床使用率（最大確保病床）	療養者数	入院率※1	重症者数	中等症者数	必要病床数予測※2			検査陽性率※3	感染経路不明割合※4	新規感染者数今週／前週比
						1週間後	2週間後	3週間後			
12月22日	0%	0%	0%	0人	0人	0	0	0	0%	0%	0
12月15日	0%	0%	0%	0人	0人	0	0	0	0%	0%	0
12月8日	0%	0人	0%	0人	0人	0	0	0	0%	0%	0
12月1日	0%	0人	0%	0人	0人	–	–	–	0%	0%	0
11月24日	0%	0人	0%	0人	0人	–	–	–	0%	0%	0
11月17日	1.4%	2人	50%	1人	0人	–	–	–	0.08%	50.0%	2.00
11月10日	1.4%	3人	67%	1人	1人	–	–	–	0.03%	0%	0.50
11月3日	1.4%	6人	50%	1人	1人	–	–	–	0.08%	0%	0.20

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上（175人）の場合に適用
※2 新型コロナウイルスの感染拡大状況とワクチン接種状況に応じた医療需要の予測ツール（国立感染症研究所）の短期予測を用い、本県のデータを用い算出
(感染が急激に増加する場合は、誤差が非常に大きくなるため、ツール制作者が認める範囲内でパラメータを調整する場合がある)
※3 新規感染者数（公表日ベース）及び県内の全検査数の1週間合計より算出
※4 12月10日公表リスクレベル資料より新規感染者数（公表日）、最大確保病床数による集計値を用いるため、12月1日以前のデータについて一部再集計を実施。
感染経路不明割合については12月1日以前のデータは確定日ベースの集計に基づく

2　県民の皆様へのお願い（１２月２４日発表）

熊本県の状況は、**レベル０**です。
また、感染状況は先週と大きな変化は見られません。

1　基本的な感染防止対策の徹底

① 症状がなくとも、マスク着用
② こまめな手洗い・手指消毒、換気
③ 発熱時は仕事等を休み、すぐにかかりつけ医等に電話相談！

・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
・外出時は、感染防止対策を徹底してください。
・マスク着用、手洗い、換気、人と人との距離の確保等の感染防止対策を徹底してください。
・帰宅直後の手洗いや入浴、発熱等の症状がある同居者と部屋を分けるなど、家庭内における感染防止対策を徹底してください。
・厚生労働省がリリースした接触確認アプリの積極的な利用をお願いします。

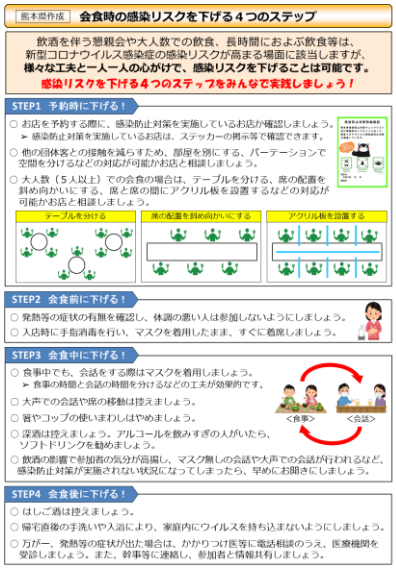
©2010 熊本県 くまモン

2　会食はリスク大！特に注意しましょう

・会食は、宅飲みを含み、感染リスクを最小化するために、下記に留意して実施してください。

①「会食時の感染リスクを下げる４つのステップ」を遵守して
② なるべく普段から一緒にいる人と
③ 人数を絞って

４つのステップ



・県内全域で、深夜遅くまでの飲酒や会合など、感染拡大につながる行動を控えてください。
・感染防止対策が講じられていない飲食店は、利用しないようお願いします。

3　飲食店事業者の皆様への要請

【感染対策】　県が示した業種別の「感染防止対策チェックリスト」、国が取りまとめている感染拡大予防ガイドラインにより、十分感染防止活動を行い、それが県民に分かるよう、ステッカー等を掲示して下さい。

【認証制度】　感染防止対策を徹底し、「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」をご活用ください

チェックリスト

認証制度

4　イベントの開催について

・県の「イベントの開催制限について」を参考とし、感染防止対策を徹底して下さい。
・参加人数は、下記の【人数上限】、【収容率】の**<u>いずれか小さい方</u>**に制限して下さい。
・感染防止安全計画を策定するイベント（対象：5,000人超かつ収容率50%超のイベントが対象）では、県に感染防止安全計画を提出してください。
・その他（感染防止安全計画を策定しない）のイベントでは、感染防止策チェックリストを作成し、主催者等のHP、SNSなどで公表してください。

イベント開催制限

	感染防止安全計画の策定あり	その他（感染防止安全計画を策定しない）
人数上限	収容定員まで	5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方
収容率	100%	大声なし：100%、大声あり：50%

※「大声」：通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること。「大声あり」：「大声」を積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントが該当

イベント開催時の必要な感染防止策【概要】

項目	基本的な感染対策
①飛沫の抑制(マスクの着用や大声を出さないこと)の徹底	□飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（品質の確かな、できれば不織布）の正しい着用や大声を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。
②手洗、手指・施設消毒の徹底	□こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施） □主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施
③換気の徹底	□法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（１時間に２回以上・１回に５分間以上）の徹底
④来場者の密集回避	□入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施 □休憩時間や待合場所での密集を回避するための人員配置や動線確保等の体制構築 □大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保
⑤飲食の制限	□飲食時における感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底 □食事中以外のマスク着用の推奨 □長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛 □自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討）
⑥出演者等の感染対策	□有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常からの出演者（演者・選手等）の健康管理を徹底する □練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。 □出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く）
⑦参加者の把握・管理等	□チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握 □入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止 □時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起

※上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種別において策定されている場合）を遵守してください。
※詳細は熊本県HP「イベントの開催制限について」をご確認ください

5　その他

事業者
・業種別ガイドラインの遵守を要請
・テレワーク・時差出勤等の取組みの協力依頼
・職場における感染防止のための取組み（手洗いや手指消毒、換気励行、テレビ会議の活用、昼休みの時差取得等）徹底の協力依頼

学　校
・文部科学省の「衛生管理マニュアル」（※）に基づく感染防止対策の徹底
※…「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～」文部科学省が、学校が取り組むべき具体的な感染症対策について示したマニュアル

保育所等
・保育所等における感染防止のための取組み（職員のマスク着用、手洗いや手指消毒、換気励行等）徹底の協力依頼
・保育室や通園バスなど密になりやすい場面での感染防止対策徹底の協力依頼

事業者の皆様へ

業種別ガイドラインにより感染防止対策を行う際には、マスク着用などの飛沫感染対策に加え、コンピューターや共用物品・設備などによる接触感染にご注意ください。

また、業種によらず従業員にわずかでも発熱等の症状がある場合、確実に仕事を休ませ、受診につなげる体制を構築することが非常に重要です。

県民の皆様へのメッセージ

残念ながら、感染者やその御家族、医療従事者の方々の中に、差別を受け、苦しんでいる方がおられます。新型コロナウイルス感染症には、誰もがどこでも感染する可能性があります。

感染された方やその御家族、職場関係の方々に責任はありません。不当な扱いや嫌がらせ、誹謗・中傷などは絶対にないよう、お願いします。

熊本市の状況と対策

熊本市においては、新たな感染者が確認されない状況が継続しています。

今後、年末年始にかけて、会食の機会や県境を越えた人の移動等も増えてくることから、現在の状況を維持するためにも、気を緩めることなく、引き続きあらゆる場面で基本的な感染防止対策の徹底など注意が必要です。

【対策】

・熊本市における取組は以下のとおりです。

✓ワクチン接種の着実な実施

✓第５波の課題を踏まえた療養体制等の強化

✓小中学校・保育所・民間企業等への抗原キットの配布

✓街中モニターを活用した感染予防策に関する広報啓発活動の実施

✓保育所等への感染防止対策の相談・指導強化（現地確認等）

✓県と連携し、入院患者受入病床や後方支援医療機関の更なる確保の継続的な実施

✓新たな変異株に対応するための検査体制等の強化

【熊本市からの要請】

・熊本市から熊本市民の皆様への要請は次のとおりです。

✓**基本的な感染防止対策**を徹底してください
（**手洗い・うがい・手指消毒・マスク着用**）

✓職場において、**業種別ガイドライン**等を参考に、**感染防止対策の徹底**を再度確認してください。また、**テレワーク等に協力してください。**

✓**小中学校・保育所・民間企業等への抗原キットの配布**について、積極的に活用していただくようお願いいたします。